

保育おおさか

平成19年6月1日 第382号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

保育の専門性を活かした活動に向けて

第二期就任にあたって

保育部会長 永野 治男



もし、違った方向へ行くようであれば、全国の仲間とともに一大行動を起こすことも視野に入れて見守りたいと思っています。

今年度は、昨年度から構想を暖めています『地域貢献』事業に鋭意取り組み、準備委員会の立ち上げ作業に入っている所でもあります。

『保育園に行けば何でもわかる』事業でありましたが、子育て以外の相談にも応じることができるような地域の福祉センターとしての保育園の活動であります。

次に新任職員の設定というより、即！退職！辞退！等々の話がありますので、保育士養成校団体との懇談に入っており、良き保育士を養成していくために、私も保育現場の声も反映していただきながら、ともに保育実習を通じて養成していく形を作りあげて行こうと考えています。

また、保育の専門性・資質向上を目指して、今年度から全国保育協議会では、研修会にポイント制を取り入れ、1000点で『保育活動専門員』を認証する制度を構築。

難関の所長専門講座を履修された方は、即認証のシステムであります。

自らの価値観を高め、より高い専門性維持継続するシステムです。

『ぜんぽきょう』六月号に掲載予定です。

この新たな二年間を役員・常任委員の皆様方と力を合わせて、努力を致します。ご協力よろしくお願ひ申し上げ、就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。

自分がまさかこんなになるとは思いもよらなかった。



今年は、私にとってメモリアルな年である。一つ目は、年女である。

二つ目は、両親の元で、慈しみ深く育てられた年月と結婚後、夫や彼の親と暮らす年月がイコールになり、これから、その年月が増える年である。

三つ目は、母が、保育の仕事から退き私と交替をして、今年で、母がやってきた年月を超える。

昔、中学校の国語の先生の「青は藍よりいであで青よりも青し」という諺を教訓的に思い出す。青色は藍から染料を取ったが、その青がもともとの藍より青く美しくなることから、教えた人よりも教えられた人のほうが勝るたことである。

どう考えても親を超えていないが、年月だけの積み重なりは感慨深い。「継続は力なり」厚かましいがこのメモリアルイヤーをこっそりひとりで自画自賛し次へのステップにしたい。(K・T)

平成19年度・20年度役員等名簿

役職名	氏名
会長	永野 治男 (榎塚台保育園)
副会長	熊井 茂治 (千里山やまて学園)
	亀井 信昭 (寝屋川めぐみ保育園)
	橋詰 幸雄 (善根寺保育園)
	宮武 勲 (大野台保育園)
	嶋田 典之 (取石南保育園)
	森田 信司 (花園保育園)
	大西 潤子 (古川園)
	菊池 繁信 (もみの木保育園)
会計監査	土井 昭 (天宗清見台園)
	西浦 正義 (ココアンジュ新家)
顧問	中辻 利夫 (泉北園)
	高岡 國士 (千里丘愛育園)

役職名	氏名
幹事	三角 和義 (たんばほ保育園)
	市橋 智昭 (一乗寺学園)
	杉本 三子雄 (母木保育園)
	斉藤 和正 (坂門ヶ原保育園)
	池尾 弘久 (くさべ保育園)
	田中 正清 (泉佐野すえひろ保育園)
	勝田 旭 (川添保育園)
	浅井 孝男 (あけぼの保育園)
	水崎 勝 (寝屋川なかよし保育園)
	門谷 明 (陽気保育園)

(敬称略)

会 記 演 レ ポ ー ト

保育の動向と課題

厚生労働省保育課 障 本 英 俊 氏

少子化対策、待機児童の解消

認定こども園の本格的始動



記念講演では、厚生労働省保育課課長補佐障本英俊氏(写真)を講師にお招きして、「保育の動向と課題」のテーマで講演いただきました。

講演要旨

- 少子化の現状とこれまでの対策の流れ
- 保育の現状と課題
- ・少子化と保育所の現状
- ・待機児童解消対策
- ・多様な保育サービス
- 認定こども園の実施
- 規制改革(直接契約・直接補助等)
- 保育指針の見直し
- 平成19年度予算の概要

現在、我が国においては急速に少子化が進行。平成17年度の合計特殊出生率は、1・25と過去最低を更新。

出生率低下の社会的背景として

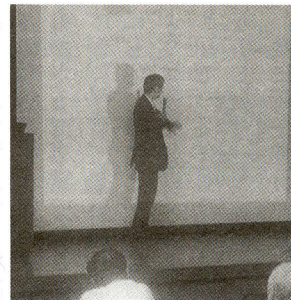
- ①働き方の見直しに関する取り組みが進んでない。
- ②子育て支援サービスがどこでも十分に行き渡っている状況にはなっていない。
- ③若者が社会的に自立することが難しい社会経済状況など。

以上のようにこれまで出生率低下を様々な角度から見つめ、対策を進めてきたものの、対策が十分に追いついておらず、出生率が依然低下傾向が見られる。

では、新たな少子化対策の視点として

①社会全体の意識改革

○総合的な少子化対策を



進める上で、生命を時代に伝え育んでいくことや家族の大切さが理解されることが重要である。

- 国、地方公共団体、企業、地域社会等が連携の下で社会全体の意識改革に取り組むことが重要である。
- ②子どもと家族を大切にするという視点にたった施策の拡充。
- 子育ては第一義的には家族の責任であるが、子育て家庭を、国、地方公共団体、企業、地域等、社会全体で支援する。
- すべての子育て家庭の支援という観点も加えた

子育て支援策の強化、在宅育児や放課後対策も含めた地域の子育て支援の充実を図る。

○仕事と子育ての両立支援の推進や、男性を含めた働き方の見直し。

○親の経済力が低く、仕事や家庭生活の面でも課題の多い出産前後乳幼児期における経済的負担の軽減を含めた総合的な対策。

○就学時における子どもの安全確保に関する抜本的対応、出産・子育て期の医療ニーズに対応できる体制の強化、特別な支援を要する子ども及びその家族への支援の拡充。

新たな少子化対策の推進として、歳出・歳入一体改革の中で必要な財源の確保とあわせて平成19年度予算編成過程において検討する。税制面においても少子化対策を推進する観点からの必要な措置を検討する。

国民運動の推進として

○家族・地域の絆を再生

する運動

○社会全体で子どもや生命を大切にする運動が、推進される。

保育の現状と課題

①待機児童の解消

平成19年度予算において、運営費や施設整備費など、待機児童ゼロ作戦関連経費として約三二六五億円(前年度比一二九億円増)を確保。

②多様な保育サービスの充実

子ども・子育て応援プランの平成21年度目標

延長保育 一六二〇〇園
一時特定保育九五〇〇園
休日保育 二二〇〇園
夜間保育 一四〇〇園

地域子育て支援センター 四四〇〇

病児・病後児保育の拡充

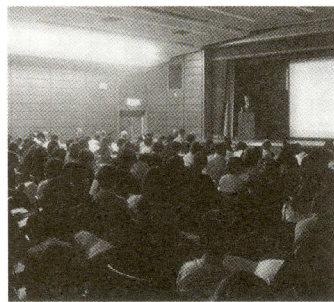
地域における子育て支援の拡充

③認定こども園の本格実施

進として、歳出・歳入一体改革の中で必要な財源の確保とあわせて平成19年度予算編成過程において検討する。税制面においても少子化対策を推進する観点からの必要な措置を検討する。

国民運動の推進として

○家族・地域の絆を再生



認定件数 9件

申請見込み件数(平成18年度10月末現在)

①平成18年度内申請見込み 約一〇〇件

②平成19年度以降申請見込み 約五〇〇件

④保育所保育指針の見直し

など最新の動きも交えながらお話しいただき、参加者の質問にも答えてくれ「現場の声を私たちにもっと届けてほしい」と結ばれました。(M・H)

平成19年度

予算主要事項

- 1 待機児童解消に向けた受け入れ児童数の拡大
- 次世代育成支援対策施設整備交付金 一三〇億

(平成18年度補正予算) 保育所耐震化対策費 (七十二億)

○民間保育所運営費 三一二七億

2 多様な保育サービスの整備

○病児・病後児保育事業(保育所自園型) 一〇億

○地域子育て支援拠点事業 八四億

保育所対策関係予算 三八〇〇億



給食試食会

常称寺保育園では、「大阪府の子育て支援保育士事業」実施園として、『園庭開放、地域子育て情報新聞発行、在宅親子

クラスにあそぼう会、赤ちゃん広場、保育園体験、給食試食会、子育て相談、子育て講演会、子育てサロンへの支援等々」を担当の保育士が年間支援計画を立て、職員全体で「年間カリキュラム会議」で園内調整を図り、実施しています。

具体的な活動内容は、オリエンテーションに始まり、毎月の身長・体重を計って、成長を喜び合います。

はじまりの歌、季節の歌、リズム運動、わらべうたあそび、紙コップ人形作り、どろんこあそび、片栗粉スライムでの感触あそび等々を経験します。

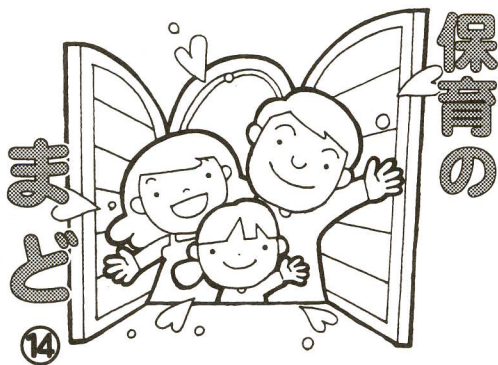
プールあそびの前には看護師による心肺蘇生法講演を行います。

秋には体育あそびやパラバルーンでの集団あそび等で運動会を迎えます。

平成12年からは運動会を、入園児とは別の日に設定していますが、父親や祖父母の参加もあり、初めての実施日には感動しました。本当に和やかな運動会になります。

実りの秋には、おいも

掘りを楽しみます。そして、在園児の制作展にも参加し、作ってあそべるものに挑戦します。12月は、人参をすりおろし「夕焼けご飯」等の親子クッキングで試食会を行います。



すべての保育園が地域の
子育て支援センターに
～今、保育園に求められていること～
「北大阪ブロック」
常称寺保育園

と、集団あそびにも参加できるように成長していきます。

子どもへの関わり方や、対応に戸惑い、4月には、緊張でいっぱいだった地域クラスの親子たちも、行事のたびに成長や変化が見られ、最後には自分たちで「お別れ会」の企

画をするまでの親同士のつながりが深まってきました。

毎日、給食室からは、手作りのおやつを提供しています。お別れ会には、グループ毎にジャンボクッキーがプレゼントされます。

地域に根ざす保育園が、つなかり作りをするサポート役になることが求められています。

また、一時・特定保育利用者の中からも子育て支援を必要とする家庭が多く、最初の利用面接が、すでに子育て相談になっていることも少なくありません。



どろんこあそび

これからのことから、育児方法を誰かに聞きたい、教えてもらいたい、少しでもいいから子どもと離れたい等の市民ニーズの高さが伺えます。

保護者の不安を聴き、分析し、求めるものを一つひとつに丁寧に関わっていくことが求められています。



秋のおいもほり

在宅親子や、一時・特定利用児親子の現状を職員全体にフィードバック

すること、在園児の保護者や子ども理解をする上でとても参考になり、親子理解が深まります。

保育所保育指針改訂基本方針が出され、秋を目途に改訂が予想されます。

保育所の今日的意義が明確化され、保育の質も問われています。

今こそ、認可保育園が、地域の社会資源として、職員間の連携を取りながら、社会貢献事業を果たすチャンスにしていきたいでしょう。

切磋琢磨し、お互いに学び合い、できることを広げましょう。

(常称寺保育園 K・I)

ブロックだより



北摂ブロック総会

北摂ブロック保育部会の総会・研修会及び懇親会が、5月15日(火)、日航ホテル茨木・大阪で行われました。熊井茂治部会長の挨拶で総会が開会され、18年度事業報告及び決算報告、19年度事業計画及び予算案の順に議事が進められ、満場一致で承認されました。

野仙一氏の実姉、米谷美和子先生(写真)から、「子どもの願いが生かされるには」と題してのご講演の中で、長年の保育経験に基づいた貴重なお話をいただきました。続いて、大阪府児童家庭室、水本行彦室長から

「大阪府行政の取り組み」と題し、保育施策の現状、児童虐待防止対策等のご講演をいただき、その後の懇談会では、講師の方を囲んで、終始和やかな雰囲気の中、閉会となりました。(M・K)

防犯意識を高めて

河内ブロック

5月17日に東大阪市内立保育会では「子どもを守る保育園安全対策」不審者侵入時防犯実技研修会

がさわらび保育園で行われました。布施警察防犯課の刑事さんが防犯グッズ(さすまた、ネットランチャー)の使い方の実演と体験を通して普段から訓練しておかないと緊急時には上手く扱えないことを実感しました。

を、数年前には急な大病から脱出したおかげで、まだ元気です。今後も部会幹事として頑張ってください。もうお一方、水崎勝さん(寝屋川なかよし保育園長)も退任、何事にも常に気づかいをもち仕事をすると、保育おさか編集委員長としても紙面の充実を図られました。お二人ともたいへんご苦労さんでした。(I・M)

保育園をたずねて

351

池田市

天神保育園

天神保育園は、池田市立天神保育所を引き継ぐ形で、平成13年4月から学校法人亀之森住吉学園が運営されている定員90人の保育園です。

日の生活の中で、思いやりや優しさを身につけ、自主性を伸ばされています。

0〜2歳児では、乳児期の発達の順序性を重視した育児担当制を取り入れ、情緒的・身体的な発達を確認しながらいてい

な保育をされています。3〜5歳児では、異年齢混合クラスを通じ、毎

日の生活の中で、思いやりや優しさを身につけ、自主性を伸ばされています。



現在、安全性と機能性をより高めた「遊びこめる園庭」を目指し、改造に取り組まれています。(M・K)



さすまた

次に近年の防犯事情についての話があり、池田小学校の事件以後各自治体での防犯意識は高まっており、「子どもの安全

対策」が非常に盛り上っている。その反面、親の我が子に対する防犯意識の低さについても指摘され、家庭単位でもっと防犯意識を高めてほしいということでした。

6年前の夏、門谷副部長(当時)から当紙の編集委員長を引き継ぎ、以来多くの方々に協力により今日まで来た。今その任を終え宮武さんに交替。永いあいだご指導いただいた尾崎(元新聞記者)さん、連載記事で協力いただいた北畑さん、事務局の皆さんに心より感謝。(水崎勝)

発行所
大阪市中央区中寺1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部協議会
大阪府保育協議会
TEL (06) 6762-9001
発行人 男 勝
編集 永 水